

事務事業 No./名 称	■サービス部門 拠点-05 西口整備事業					ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門					942	西口整備運営事業	
主管課	大船駅周辺整備課		関連課	各部各課		1117	西口整備事業	
分野名	市街地整備							
目標 (目標値)	都市基盤の整備により、大船駅西口利用者の利便性と安全性の向上を図る。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状 況	決算値	510,221千円	182,521千円					
	(国・県)	348,081千円	64,025千円					
	(負担金等)							
	(一般財源)	162,140千円	118,496千円					
	人員配置数	3.5人	2.5人					
	人件費	33,763千円	25,474千円					
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	543,984千円	207,995千円					
	市民1人当 りの経費	3,079円	1,179円					
	対象者1人 当りの経費							
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・大船駅西口交通広場については、横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)が策定されているが、様々 な課題があり実現できない状況である。これにより、依然として朝夕の交通ラッシュ時には交通 渋滞が頻繁に発生しており、歩行者の安全も確保されない状況にある。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)が宙に浮いてしまっているため、鎌倉市単独で暫定整備に着 手した。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・暫定整備のため、交通広場や駐輪施設の使用できる期間が限定されている。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・横浜と一体的な整備計画(案)の取り扱いについて再協議を行い、将来の整備計画を確立していく。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	大船駅西口利用者の安全性・利便性 の向上を図り、より効率的・効果的な 公共サービスを提供するため、引き 続き、公共広場整備を含めた鎌倉市 域での整備工事を進め、早期の完成 を目指す必要がある。			評価結果	改善の必要性	鎌倉市域での西口整備事業を積極 的に進め、整備後の効果を踏まえな がら「横浜・鎌倉両市一体整備計 画」について見直しを行い、実現可 能な西口整備計画のあり方を検討 する必要がある。	
A	有				A	有		
課長名		渡辺 一			部名・部長名		拠点整備部 高橋 洋	